

夏播短根ニンジンの品種とは種期について

阿部 隆*・高橋 慶一**

(*岩手県園芸試験場・**岩手県園芸試験場高冷地分場)

Studies on Varieties and Seeding Date of Summer Carrot

Takashi ABE* and Keiichi TAKAHASHI**

(*Iwate Horticultural Experiment Station, **Highland)
(Branch, Iwate Horticultural Experiment Station)

1 ま え が き

当地帯の短根ニンジンの主な作型は4～5月にかけては種し、8～9月に収穫する春播夏穫りであるが、高冷地野菜の特徴として収穫期がほとんど8月、9月に集中することや、初夏穫りレタスの跡地利用の点などから夏まき秋穫りの作型開発は労力配分や作季の延長に重要な意義をもつ。

このため本試験は夏まき短根ニンジンの作型確立を目的に品種と播種期について検討し、更に越冬春穫りについても検討したが、その成果の概要について報告する。

2 試 験 方 法

年次ごとの種期および供試品種は表1に示した。

昭和50年の収穫期は種後110日～130日と越冬後4月13日とし、昭和51年は種後100日～115日とした。栽植距離は、畦幅60cm株間10cmの2条、a当り3,300で、試験区は兩年とも1区9m²の2区制とした。

表1 品種とは種期

年次	供試品種	は種期	6月14日	6月24日	7月5日
		は種期	6月19日	7月4日	7月21日
S 50 年	供試 品種		新黒田 5寸	M S 夏播 5寸	試交5寸101号
			T号夏播 5寸	小泉冬越 5寸	キング冬越 5寸
			金港冬越 5寸	T号越冬 5寸	四季 4寸
S 51 年	供試 品種		新黒田 5寸	試交5寸101号	鮮紅冬越 5寸
			キング冬越 5寸	金港冬越 5寸	T号越冬 5寸
			四季 4寸	金港 4寸	M S 4寸
					小泉冬越 5寸

3 試 験 結 果

1 気象経過と根部肥大

昭和50年の生育期間中における気温は8月の平均気温が22.3℃、9月18.6℃で特に9月の気温が平年より2℃も高かった(図1)。

しかし51年は前年と全く異なり8月が平年より3.4℃、9

月が0.5℃も低く、8月9月の積算温度で前年に比べ190℃も低かった。このような気象条件の下で、根重増加の推移をみると、いずれの年においてもは種後70日前後から急激な肥大がみられ、特に気温15～20℃の範囲で肥大が良好であった。従って51年は肥大初期が適温下であり、良好な肥大状況を示したが、9月以降の低温で前年に比べ著しく肥大が不良であった。

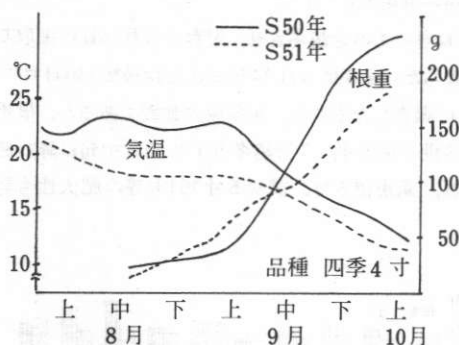


図1 旬別平均気温と根重

2 年内秋穫りの品種とは種期について

昭和50年の130日目収量調査における結果を図2に示したが、根重は四季4寸、キング冬越5寸、小泉冬越5寸等がまき、は種期別では多少の品種間差はあるが6月24日まきがまさる傾向を示した。

障害根では特にM S 夏播 5寸等の夏まき年内穫りタイプの品種の腐敗根が多く、また四季4寸の裂根が多かった。従って収量的には根重がすぐれ、障害根の少ないキング冬越5寸が平均してまき越冬系の金港冬越5寸、T号越冬5寸、小泉冬越5寸がこれに次いだ。

しかし51年の低温条件下におけるキング冬越5寸の肥大は著しく劣り、は種期別では早い種期ほど肥大がまさった。

このような気象条件下でも比較的根重、収量のすぐれた品種は小泉冬越5寸、試交5寸101号、4寸系統で、とくに小泉冬越5寸は前年と同様肥大が良好で温度に対する適応幅の広い品種と推察された。

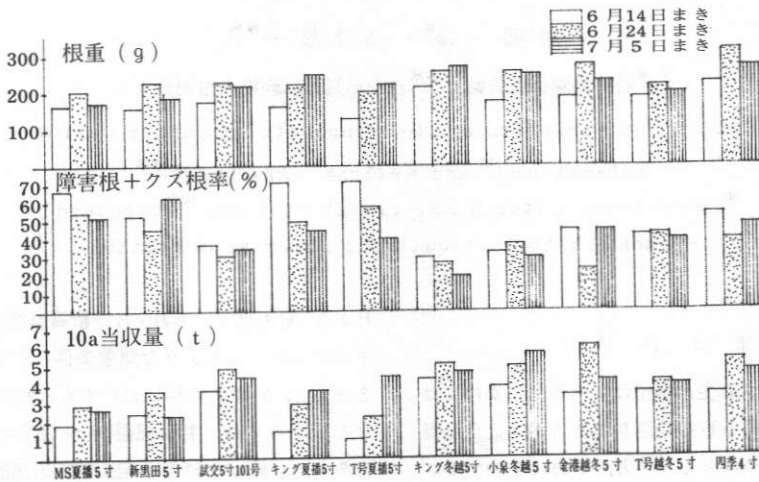


図2 品種対は種期(昭50年130日収穫)

3 越冬春穫りについて

50年は種のを越冬させ、翌春の4月13日に掘取り調査を行なった。図3は6月14日まきを種後130日目の10月23日に調査したものと、越冬後の比較であるが、根重では特に金港冬越5寸、T号越冬5寸の10月中旬以降の肥大がみられ、新黒田5寸、試交5寸101号等の肥大性も認められた。

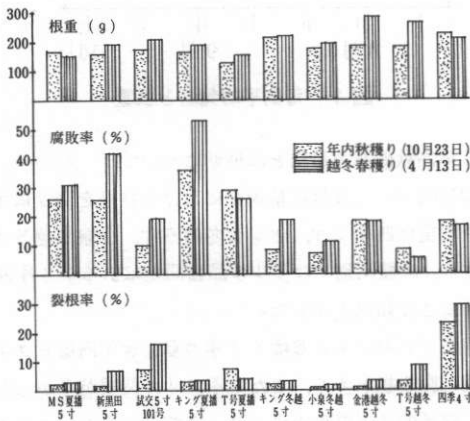


図3 秋穫りおよび越冬春穫りの比較
(和50年6月14日播)

これは10月下旬～11月上旬の平均気温が5～6℃

で経過したが、この低温条件下で肥大が行なわれたものと推察されるが低温下の根部肥大の品種間差は大きいものと考えられる。

腐敗率では秋穫り同様キング夏播5寸等の夏播年内穫の品種が多く、越冬中にもかなりの増加がみられた。また裂根率では四季4寸の裂根が多く越冬中肥大がみられた試交5寸101号、新黒田5寸等も裂根が大幅に増加した。

4 ま と め

1 標高400m地帯における夏まき秋穫りの短根ニンジンの種期は平年では6月20～30日頃にあるものと推察され、これは根部肥大適温といわれる15～20℃になる9月上中旬からさかのぼって70日前後になる。

2 越冬春穫りの種期も秋穫りとほぼ同じ時期になるが、越冬中の根の肥大性や腐敗根、裂根発生などにかなりの品種間差がみられるので品種の厳選が必要である。

3 これら作型に適する品種として小泉冬越5寸が温度に対する適応幅が広く障害根も少なくすぐれている。

またキング冬越5寸は高温気味の気象条件下では根重、収量とも安定するが低温条件下では劣る。

四寸系統は年内どりの適期収穫ではかなり有望であるが、収穫期間の幅が短く裂根しやすい欠点がある。